

○高等植物分布資料 (34) Materials for the distribution of plants in Japan (34)

○ヤブスゲ *Carex Rochebruni* Fr. et Sav. 従来、近畿以東の本州と四国に知られていたが、私は 1964 年 5 月 10 日、周防国高森の鮎原神社横手の草地で採った。小穂は未熟であった。採集の適期は 5 月の下旬であろう。

○カタスゲ *Carex macrandrolepis* Lévl. は長門国萩市鶴江台（玄武岩台地の半島）の林縁で、1964 年 5 月 30 日に採った。すでに果実は半ば落ちていた。5 月上・中旬が採集の適期であろう。私は以前長門日本海岸で限止する暖地性植物がはなはだ多いことを述べた（山大理学会誌 1952）ことがあるが、本種もその好例と思う。中国地方新産と思われる。

○アオバスゲ *Carex insanae* Koidz. var. *papillatculmis* Ohwi は通常、本州中部、近畿、四国、九州に分布するよう記されているが、私は石見（柿木村）、周防（平家岳、川越、上関、柚野、宮野）、長門（篠生、佐々並）で採った。中国地方山地一帯にあるものと思われる。

○ジングウスゲ *Carex sacrosancta* Honda が安芸の宮島にある。1948 年 8 月 27 日の採集なので精確な地点は思い出せない。この標本は稈長 50 cm 以上にも達し、本種としては特に發育のよいものである。北限の一線を画するものと思われる。中国地方新産と思われる。

○ヒカゲハリスゲ *Carex Onoei* Fr. et Sav. は成書には本州中部以北を産地としてあるが、私は長門阿武郡明木（あけらぎ）（1963. 5. 26）と周防の平家岳（1963. 5. 28）の何れも海拔約 700 m、のところで採った。前者はかなりの産量があるが、後者は極く少く、或は絶滅するかも知れない。吉野善介氏の備中植物誌補遺其一にも載っているし、六甲山でも山鳥氏の報告があるらしい。中国山地をよく探せばまだ発見されるのではあるまいか。

○フサスゲ *Carex metallica* Lévl. 周防吉敷郡秋穂町竹島（瀬戸内海の小島）（1952. 5. 11 採）と対岸の宇部市岐波（旧吉敷郡）（1963. 5. 10 採）にある。台湾から北上して、済州島、北九州、伊予、阿波に及んでいるので、当地にあっても不思議はないが、本州では新記録であり、北限産地ともなる。

○タマツリスゲ *Carex filipes* Fr. et Sav. 中国地方では秋山博士の本に因幡があり、吉野氏（前出）は備中佐与谷を記されている。長門では私は美禰郡綾木（1963. 4. 26）に、見明長門氏は阿武郡嘉年（1964. 4. 19）に採った。中国地方一帯にあると思う。

○ヒロウドスゲ *Carex Miyabei* Franch. 見明氏は 1963 年 5 月 26 日、長門阿武郡徳佐の神角（こうぞの）で発見され、更に翌年 5 月 5 日に同じ徳佐の野坂で採集された。中国地方ではまだ記録がないようである。

年来、本属の鑑定や御教示を賜っている大井次三郎博士に、又、多数の標本を提供された見明長門氏に深く謝意を表します。
（山口農業高校、岡国夫）